

環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会
APARC 小委員会（第 26 期・第 2 回）議事要旨

1. 日時：令和 7（2025）年 7 月 8 日（火）12:00～13:00

2. 会場：オンライン会議

3. 出席者

委員：佐藤 薫、秋吉 英治、江口 菜穂、河谷 芳雄、木下 武也、高麗 正史、
小林 ちあき、田口 正和、富川 喜弘、西井 和晃、原田 やよい、藤原 正智、
堀之内 武、渡辺 真吾

オブザーバー：奥井 晴香、野口 峻佑

欠席者：坂崎 貴俊、菅原 敏、廣岡 俊彦、三好 勉信

4. 配布資料

資料 1：第 26 期第 1 回議事要旨

資料 2：委員名簿

5. 議事内容

（1）日本地球惑星科学連合での活動について（連合大会、APARC セッション等）

・2025 年連合大会における APARC セッションの実施報告が主コンビーナーの野口オブザーバーよりあった。ほかのコンビーナーは江口、原田、西井各委員が務めた。例年通りの口頭発表枠を 2 枠(コマ)獲得できた。また、前回までと異なり今回は英語で実施した。参加者数は約 50 名（会場：約 30 名、オンライン：約 20 名）であった。

・2026 年連合大会の APARC セッションのコンビーナー体制が確認された。江口委員は退任、他の 3 名は継続の予定である。他の候補者を今後検討予定であり、決定次第 APARC ML にて共有することになった。なお、APARC セッションのコンビーナーはなるべく固定せず、若手を含めた持ち回りとするのが望ましいという、以前行われた申し合わせが改めて確認された。

・2026 年連合大会は AGU との Joint Meeting となるため、APARC セッションは今年に引き続き英語での実施とすることになった。APARC セッションそのものを AGU との共同開催セッションとするかどうかについては、APARC メールリストで意見交換をすることとなった。

・米国研究者の参加状況に関する情報共有を行った。

（2）日本気象学会での活動について（専門分科会、研究連絡会等）

堀之内副委員長より、中層大気・対流圏過程研究連絡会の講演者募集について周知された。自薦・他薦問わず候補者があれば、堀之内副委員長まで連絡する。

（3）日本大気化学会での活動について

江口委員より、第 30 回大気化学討論会（2025 年 10 月 8～10 日、東京大学柏キャンパス）開催について周知された。

(4) 地球電磁気・地球惑星圏学会での活動について

富川委員より、中間圏・熱圏・電離圏 (MTI) 研究集会 (2025 年 9 月 17~19 日、電気通信大学およびオンライン) 開催について周知された。

(5) 国際 APARC に関する情報共有

・ APARC General Assembly 2026 について

現在 APARC SSG メンバーを務める堀之内副委員長より、APARC General Assembly 2026 (2026 年 10 月 12~16 日、Indian Institute for Tropical Meteorology、Pune、India) 開催について周知された。

・ 次期 SSG メンバーについて

堀之内副委員長より、次期 SSG メンバー (2026 年~) に本委員会の渡辺委員が選ばれたことが周知された。今後も継続して日本から APARC の SSG メンバーを推薦していくことが確認された。

(6) その他

本委員会に関する下記情報共有を行った。

・ GeoMIP meeting について

渡辺委員より、GeoMIP meeting (2026 年 3 月 16 日：ジオエンジニアリングに関する国際公開シンポジウム (イベント名称未定)、3 月 17~19 日：GeoMIP meeting、東京大学) 開催について周知された。

・ ソウル大・Son 教授の九州大学滞在について

江口委員より、Son 教授が 2025 年 12 月中旬~2026 年 3 月中旬に九州大学・応用力学研究所に滞在予定であることが周知された。

・ A3Foresight 会合について

佐藤委員長より、A3Foresight の活動・会議について周知された。

・ ISWA2 シンポジウムについて

佐藤委員長より、ISWA2 (The 2nd International Symposium on the Whole Atmosphere) (2027 年 6 月 6~9 日、東京大学) について周知された。

・ AGU25 annual meeting について

奥井オブザーバーより、AGU25 の重力波セッション開催について周知された。

・ 日本気象学会 2025 年度秋季大会について

江口委員より、英国気象局・Scaife 教授が第 5 回小倉特別講義の講師を務める旨周知された。

・ 天気解説『日本の中層大気研究の現状と展望』の出版について

河谷委員より、解説 (2025 年 5 月) が出版された旨周知された。

以上